

平成21年8月13日

各 位

子会社 台湾倍適得電器股份有限公司（本社 台湾台北市）と憶聲電子股份有限公司（本社 台湾中壢市）との業務・資本提携に関するお知らせ

当社は、平成21年8月13日開催の取締役会において、台湾倍適得電器股份有限公司（以下「台湾ベスト社」、当社子会社：本社 台湾台北市）と憶聲電子股份有限公司（以下「アクション社」、本社 台湾中壢市）の間において業務・資本提携に合意することを、決議しましたのでお知らせいたします。

記

#### 1. 業務提携の内容

当社はグローバル戦略の一貫として、2005年に台湾家電量販店の株式を取得し台湾市場に参入致しました。台湾ベスト社は当社の現地販売子会社であり、現地パートナーとの提携による合弁会社であります。現在台北市内を中心に10か所の家電店舗を運営しております。

当社の丁寧な接客と迅速かつ確実なサービス、またデジタル家電などの高品質の商品を中心とした豊富な品揃えと付加価値の高い提供方法で台湾のお客様に高い支持をいただいております。

この度さらなる業容の拡大と展開のスピードを上げる為、台湾現地の有力企業アクション社と業務・資本提携を実施する運びと相成りました。

同社は小型液晶テレビやポータブルDVDなどを製造するAV専門メーカーであり、傘下に現地の家電量販店を収める成長力の高い優良企業であります。

同社との提携により、仕入れコストの削減や一層の効率化を推し進め、マーケットシェアの拡大と安定した企業経営を進めてまいります。

また、将来、大きく成長を続ける中国本土の内需拡大に対応し、まず台湾にて両社共同事業によるノウハウを確立し、一定のマーケットシェアを確保した後、中国本土への共同展開を進める計画であります。

さらに当社グループはアクション社製品のグローバル戦略に協力し、同社の販路の開拓、流通量の拡大に寄与する為、近く販売協力に関する覚書を交わす計画であります。今後は両グループの経営資源を有効に活用し、以下の点で相乗効果を目指して行きます。

両社の持つ、経営手法、人材活用、マーチャンダイジング、店舗運営、販売方法、物流システム等などのノウハウを融合し、台湾ベスト社の経営改善及び業容拡大のスピードアップをはかってまいります。

アクション社の持つ中国本土での製造業としての成功体験と抱負な人脈などのノウハウと当社グループの海外での店舗運営などの強みを共有し、中国大陸への進出を積極的に取り組んでまいります。

当社グループはアクション社の製品のグローバル展開に関し、販路開拓などの面で協力します。

また将来、当社グループの持つマーケティング力とアクション社の持つ製造技術をドッキングし、共同にてオリジナル商品の開発を手がける予定であります。

## 2. 資本提携の内容

業務提携を円滑に推進するため、アクション社は台湾ベスト社が実施する第三者割当増資を引き受け、同社の過半数を超える株式を取得する。その購入株式数、時期等については、それぞれ協議の上決定します。

## 3. 台湾ベスト社の概要

(1) 商号	台湾倍適得電器股份有限公司
(2) 所在地	台湾 台北市
(3) 代表者	董事長 安永 幸市
(4) 設立年月	1989年4月（台湾泰一電気として）
(5) 事業の内容	家庭用電気製品販売業
(6) 決算期	12月31日
(7) 従業員数	289名（平成20年12月末）
(8) 資本金	263,000 千 NT\$
(9) 株主	株式会社ベスト電器 73.1%、 和泰グループ 26.9%

## 4. アクション社の概要

(1) 商号	憶聲電子股份有限公司
(2) 所在地	台湾 中壢市
(3) 代表者	董事長 彭 君平
(4) 設立年月	1976年7月
(5) 事業の内容	家庭用電気製品製造業
(6) 決算期	12月31日
(7) 従業員数	2110名（平成20年12月末）
(8) 資本金	3,357,284 千NT\$
(9) 主要株主	彭 君平 5.33% 聯華電子股份有限公司 5.28% 大柏投資有限公司 4.05%

## 5. 提携の日程

(1) 台湾ベスト社取締役会決議	平成21年8月13日
(2) 台湾ベスト社臨時株主総会開催	平成21年8月末予定
(2) 新規増資払込完了	平成21年9月下旬予定

## 6. 今後の見通し

本件により、台湾ベスト社は当社連結子会社の対象除外となり、持分法適用子会社に移行します。

以上